



お彼岸が過ぎて 酷暑が収まり、空も山も街も 一機に秋の風
まだまだ 厳しい時代ですが、元気に秋を楽しみましょう

- ・ 西神戸・東播磨の里の秋景色点描
 - ・ 今月の神戸新聞「正平調」ほか 気にかかった記事 & internetより
- 収録1. NHK BS アナザーストーリーズ
「小さな巨人 緒方貞子さん運命の分岐点」を聴取して 2023.10.10.
収録2 桂文珍さんの落語的見聞録 2023.9.27
「ソレ」で関西は盛り上がりまっせ

山に登れば 真っ青な大空に鰯雲 一筋の飛行機雲に飛行機の機影。

東の六甲・生駒から葛城・金剛の山並を背に 神戸・大阪の街並 関西空港もくっきり

西に目を転じれば、明石大橋の背に 播磨の海に浮かぶ小豆島・家島群島そして広大な播磨平野
空気までもが澄み渡り、この時期ならではの美しさ。

近郊の里を彼岸花が飾るのを契機に毎年楽しみにしている西神戸・東播磨の里の秋迎いの風物詩
2023 神戸の里の秋景色 Album 作りに小さな秋を探して原チャリで駆けました。

また、神戸の街はタイガース・オリックスのセ・パ同時優勝で大盛り上がり。

仲間メールも飛び交い、会話が弾むうれしい秋に。仲間のカントリーライブ・街での飲み会にも・・・。

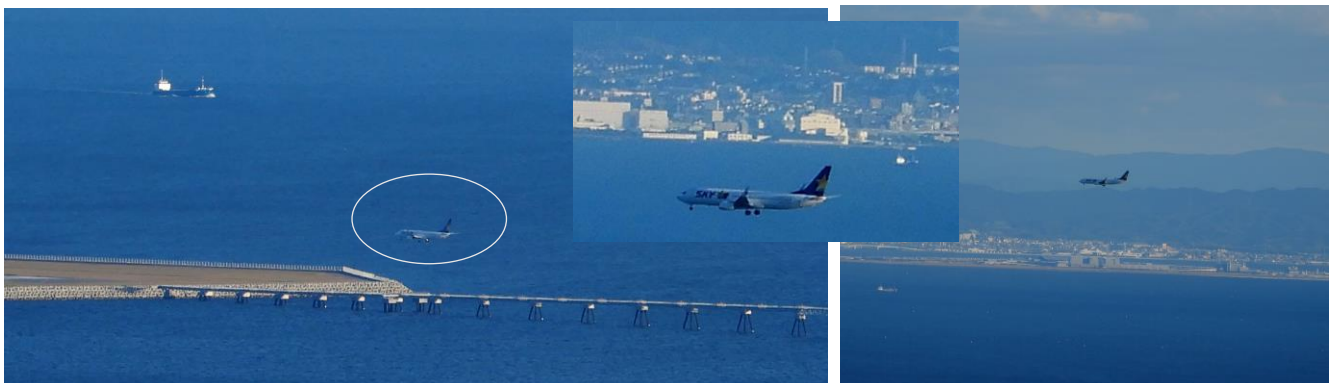
世相はいまだ、ウクライナ戦争は収束のめど立たず、中国・北朝鮮との対立もますます激化。

物価の上昇等々先行きの見えぬ厳しさに度重なる線状降水帯発生の災害の激甚化等々厳しい日々
後ろから今を考える高齢の仲間入り 老化や病氣と闘う先輩や仲間の今を聞くことも増え、
計報に涙ぐむことも多くなりましたが、”元気に毎日を”と元気に動けることに感謝しつつ
自らを奮い立たせています。 ありがとう。

10月里の秋 神戸から季節の便りを届けます

仲間の元気はみんなの応援歌 God be with You !! 元気に今を前向いて

2023.10.10. From Kobe Mutsu Nakanishi



上空を飛んでいる時は視認できるのですが、海へ降りてくると消えてしまう大阪湾上の飛行機 いつも探すのですが・・・

西から大阪湾の神戸空港へ着陸する飛行機 2023. 10. 11. 今日やっと着陸する飛行機を捉えられました。



2023.10.10. 函取山から眺める秋の大阪湾 青空に次ぎ来る31もバカよし



2023.9.25. 西神戸白川の里で
地蔵堂に、思い出、また寄り道を家々に
「男爵」「梅里」「梅里」「あきらの」など
思いに人せられ、でも、いつも、足跡を、そばにいてくれる
星の音から解放され、秋の来の夕日に、お別れを言わなくては
God Be With You!!
2023.9.25. From Kobe! Mutsu Nakanishi



6月22日撮影 2023
2023年 6月22日 西神戸の里の風景



西神戸の里の風景 2023



西神戸の里の風景 2023

なにとはともあれ、 タイガース・オリックス セ・パ両リーグ優勝 おめでとう
関西は大盛り上がりのうれしい秋に !!

関西は阪神・オリックス セ・パ同時優勝に沸く秋の訪れ うれしい秋に !!



オリックスの日本一パレードでファンに手を振るイチロー選手(左上写真)ら
＝1996年11月17日、神戸市中央区
18年ぶりのリーグ優勝を飾り、ファンの声援に応える当時の阪神一塁手(左端)とタイガース投手＝2003年11月3日、神戸市中央区



阪神・オリ、神戸と大阪で同日パレード



阪神に続きオリックスも優勝
阪神なんば線大阪湾岸シリーズが実現すればうれしいね。
添付は神戸新聞切り抜き。
大阪・神戸の両方で 同日優勝パレード実現
うれしい秋になりました。

我

また ひそかにインフル・コロナが拡大中
関東は連日 線状降水帯の集中豪雨 すごい雨。
柏や我孫子の街中まで すごいことに。 いかがでしょうか・・・
どうか無理せずご留意ください。
お彼岸が来るのに酷暑で まだ西神戸の田園を飾る彼岸花はちらほら
本当に地球温暖化がダイレクトにわが身にも降りかかる時代になりました。
お互い感度をあげて 頑張らねばと。

God Be With YOU!! 2023.9.22. 神戸中西



北神戸 丹生山塊の山裾 南: 山田の里 北:淡河の里 嬉しい稔りの秋 もう 一部の田では刈入も 2023.9.26.



私の通う散歩道のひとつ 白川峠の北 白川の里 彼岸花の咲くのが遅れましたが、夏の酷暑が収まり、お盆を過ぎると一気に 2023.9.23.
たわに穂って顔を垂れる稲穂の畔 そして邑を通る道際に待ちかねた真っ赤な彼岸花 今年もかわらぬ嬉しい秋の里景色 もう我が家は伊川谷小寺の里の新米が食卓に



加東市木梨の郷で栽培されてきた灘の酒蔵「剣菱」の酒米「愛山」は酒米の「ダイヤモンド」というらしい。私の知るのは剣菱の酒「瑞穂」に山田錦と共に使われていると聞く。今年も東播磨の丘陵地に点々とつながる酒米の郷では 酒蔵の旗が畔を飾るうれしい稔りの秋に。長年酒蔵と栽培地の郷が共同して守り育てつづけてきた酒米の証が畔にはためく酒蔵の旗。芳醇な新酒が出回るのが待ち遠しい。 2023.9.25. 酒米の郷 加東市木梨の里で



西の経野台地の街道より眺め 中央を千鳥川が流れ下る田園の奥に広がる木梨の里 2023.9.25. 家型の背後中国道沿いにも広大な酒米山麓の栽培地が広がっている



加古川東岸の中国道沿いに東へ広がる中国道沿いの加東市・三木市は兵庫が誇る酒米の郷 2023.9.25. 点々と丘陵地に広がる街道筋の山郷には 灘の酒蔵はじめ、全国の酒蔵の旗が黄金色に穂った酒米の畦を飾る ことしは原チャリで酒米の郷巡り ことしは駆けつけた時期が遅れて、酒米の畔を酒蔵の北と真っ赤な彼岸花 そんな酒米の田を爽やかな秋の風が渡る嬉しい風物詩 全国にことしもうまい酒造りOKの発信!! 残念ながらことしは原チャリトラブルで三木市の酒米の郷を駆けることができませんでした。 帰りに立ち寄った加古川西岸小野市きすみ野のそば畑では畑一面を真白にしてそばの花が咲いていました 新そばが食べられるのが、待ち遠しい。 異常気象の本年ですが、西神戸・東播磨はいつもと変わらぬ里の秋 真っ青な空に鱗雲 黄金の田をゆっくりと秋の風が渡ってゆく。 とっておき 神戸の秋の風物詩です。



加古川東岸 小野アルプスの山裾 小野市きすみ野のそば畑 2023.9.25.



西神戸初秋の風物詩2023
渡りの蝶「アサギマダラ」渡りの道

2023.10.2. 横尾山山麓 横尾道(上の道)より眺める横尾灘 澄み渡る秋の空 明石大橋 瀬戸灘に浮かぶ島々 小豆島や家島群島がくっきりと



↓小豆島

↓家島群島

↓姫路/赤穂の瀬戸内沿岸

2023秋 くっきりと見える播磨灘に浮かぶ小豆島と家島群島 2023.10.2. 横尾山山麓 野路菊の丘



西神戸初秋の風物詩2023
渡りの蝶「アサギマダラ」渡りの道



アサギマダラ飛来を捉え
横尾山山麓横尾道(上)の散策路の藤袴保護地で 2023.10.3.



西神戸初秋の風物詩2023
渡りの蝶「アサギマダラ」渡りの道

アサギマダラ飛来を確認でき、今日はうれしい横尾道
新し返ると西に見える横尾山。峰はこの山を中継地に横へ渡って、
渡りの蝶「アサギマダラ」の渡りの道
西六甲の山麓 横尾山山麓横尾道 2023.10.3. 14:43

六甲は秋 南西の島々へかえる渡りの蝶「アサギマダラ」の渡り道 須磨海岸にそびえ、藤袴の花咲く横尾山・鉄塊山・旗振り山はアサギマダラ渡りの道の中継点。 10月3日アサギマダラ飛来が確認できました。

今年は飛来が少ないと思っていましたが、去年は旗振り山の藤袴花の上で乱舞するアサギマダラを見たのは10.22.

まだ これからも集まってくるのかも……

でも 集まってくる蝶や昆虫にも変化が見え、ここにも地球温暖化の影響が忍び寄る。

夏が終わって秋到来 こしは9月に台風接近が2つのみ 比較的に少ないのですが、猛烈な酷暑と線状降水帯発生集中豪雨多発この秋がこのまま穏やかであってほしいなあと願うのみ

今月の神戸新聞

「正平調」ほか 気にかかった記事より

■ 人権侵害はジャニーズ問題にとどまらない。企業が動けば社会は代わる

平和をむ損なってまで、必要な売り上げはいちえんたりともない

ジャニーズ問題が、TVや新聞で社会問題として取り上げられている。

それぞれ、放送業界とジャニーズとの長年にわたる相互利害共有の中 どんなふうに取り上げるか、興味津々で見えています。

あにはからんや、忖度あり、隠し事ありと中々 中味を正確に伝える姿勢が見えない。

なにか、明治初期か 江戸時代に帰ったような会見のやり取り。

またもや具体的な事実関係やこれからの課題の受け止めと方向が見えてこない。

TVでは 一歩も二歩もまえにすすんだというが・・・

あの「ビックモーター」問題も根は同じような捉え方とみえる。

はぐらかしてはいないでしょうが、質問者の意図とはずれているなあ・・・・・・と。

会見で何を伝えたいのか……でなくて、相手の質問にどういつくろうか・・・・・・

日本の記者会などは総じて、そんな光景が多い。政治家なども総じて・・・

神戸新聞の正平調氏はコラムで下記の通り。

筋の通ったきっちりした回答を聴きたいものだ。それが社会を造ってゆくと。

人権侵害はジャニーズ問題にとどまらない 企業が動けば社会は変わる

◆「平和を損なってまで必要な売り上げは一円たりともない」

神戸新聞

2023.9.23. 正平調

正平調

たった一人の言葉が、人々を、世の中を動かすことがある。その代表例といえるのが米国の公民権運動の指導者マーティン・ルーサー・キング・ジュニア、あのキング牧師の演説だろう◆「I have a dream (私には夢がある)」。黒人差別の撤廃を求めてワシントンに集まった20万人を超える群衆にそう呼びかけ、非暴力による社会変革を訴えた。その翌年、公民権法が制定された◆比べるのは大げさすぎる、と笑われるかもしれないが、筆者にはそれほど強い言葉と感じた。ジャニーズ事務所の問題を巡り、アサヒグループホールディングスの勝木敦志社長が朝日新聞の取材に語った言葉◆「人権を損なってまで必要な売り上げは一円たりともありません」「取引を継続すれば私たちが人権侵害に寛容ということになる」。所属タレントのCM起用をいち早く取りやめると、多くの企業が後に続いた◆ならば、と夢を見る。史上最悪の人権侵害は戦争だ。「平和を損なってまで必要な売り上げは一円たりともない」。もし、日本を代表する企業が次々にそう宣言したら◆人権侵害はジャニーズ問題にとどまらない。外国人問題、男女格差、児童虐待…。企業が動けば社会は変わる。それが成熟した資本主義ではないか。 2023.9.23

■ 和鉄の道 具体的な取り組みの実像と具体的な進捗評価が見えぬ日本の脱炭素取組

現場の取組から実像が見えてこないか…今月この視点でインターネットを巡り、知らなかったこと多し。

■ 脱炭素社会・ゼロカーボンの掛け声が小さくなってしまった今ですが、地球変動に対する対応は待ったなし。

現状が知りたくて 現場の取組資料をインターネットからさがして、今月の和鉄の道に掲載しています。

資料収集 <<各産業分野で事業化に向けた現場の取組から見えてくるもの>> 2023.10 月

鉄の話題 脱炭素社会構築へ 10月 資料採録

課題は電力・エネルギー問題への取組 インターネットより

「脱炭素へのロードマップ ビジネス界1.5℃目標への挑戦」2050年CO2排出ゼロへのロードマップを掲げ、世界的な脱炭素社会構築への取組がすすんできた。しかし、ロシアのウクライナ戦争に端を発したエネルギー価格の沸騰・物価上昇 そして巨大国中国経済の低迷等が世界各国を襲う一方、地球温暖化による気象の激変・激甚化が誰の眼にも明らかになり、本年は これらの影響が直接わが身にも降りかかる時代になった。各国の政治・経済はこれらの対応に追われ、脱炭素への取組にも影を落としている。そんな中で、各国の脱炭素達成の具体的取組 中間指標の達成状況も不透明になったと報ずる情報も多い。大きな取組環境変化の中で、遅滞なく目標達成への道が進んでいるのだろうか・・・・・・色々新情報が流れるが、その事業実態は一向に見えてこず、先行き不透明感一杯。素材の製造・物流・製品・廃棄・再生まで全工程を通じて脱炭素の筋が通るのか・・・・・・鉄鋼では 懸案だったひも付き自動車向け鋼板の低価格の達成等による収益改善を背景に、製鉄所の集約改革&集約が断行され、まだほんの一部ですが、二酸化炭素(CO2)排出量を減したり、実質ゼロにしたりする「グリーンスチール」と呼ばれる鋼材も市場に出始めたが・・・・・・持続可能社会構築へのアプローチ、具体的に数値としてどの程度進んだか・・・・・・一番の分野は社会先般にかかわる 電力・エネルギーそして鉄鋼・自動車の分野。企業各社は国と同様 取組がすすんでいると謳うがその実態は…「目標達成へ向けて、各分野での取組・事業をステップアップする一里塚」各企業・事業体の現場ではどんな取組推進がはかられているのか・・・・・・インターネット・新聞情報から、断片的ではあるが、今の状況を拾い読み 玉石混合ですが、資料採録。現場での具体的な取り組み進捗が少しでも見えてくれば・・・と。

小さな巨人 緒方貞子 ～命をつなぐ現場主義～ 「小さな巨人緒方貞子さんの生きざま」

収録！ 「小さな巨人 緒方貞子さん 運命の分岐点」を聴取して 2023.10.10.

NHK BS アナザーストーリーズ

小さな巨人 緒方貞子さん 運命の分岐点 を聴取して

2023.10.6. NHK BS の番組を見て 記録を残しておきたい

From Kobe Mutsu Nakanishi



小さな巨人 緒方貞子 ～命をつなぐ現場主義～

放送日: 2023 年 10 月 6 日

ボスニア内戦、ルワンダ虐殺…

世界で難民が苦しむとき、その現場にはいつもこの小柄な女性の姿があった。

UNHCR・第8代国連難民高等弁務官、緒方貞子。

過酷な現場に自ら足を運び、解決のためならどんな相手ともきげんと立ち向かうその姿は“小さな巨人”と呼ばれた。

緒方のかたわらにはいつも彼女に心を動かされ、ともに闘った人々がいた。

命をつなぐために、緒方はどんな闘いに挑んだのか？ 黒柳徹子との知られざる交流も。

国連の前難民救済高等弁務官 「小さな巨人緒方貞子さんの生きざま」に感動して、
食い入るように番組を視聴しました。

「命は宝」・「現場主義」 よく使う言葉ですが、「現場主義・命は宝」の行動を身を持って見せてくれた人
この種の番組ではよく出逢うオーバーな演出もなく、
事実を赤裸々に積み重ね、きっちりと緒方氏の生きざまを きっちり伝えてくれた番組でした。

国際情勢は厳しく混乱の時代 判断力が問われる時代に
絶えず「理念」「行動」の原点を説き、おごらず、独りよがりにならず、
現場で 多くの人の先頭に立ち、難局を切り開いて行く姿勢に感動

日本にありがちな短所「ご都合・付和雷同」を廃し、
たえず現場で難局に立ち向かい、日本もやることが沢山あると言い続けられた姿も印象的でした

2023.10.6.夜 by Mutsu Nakanishi

【参考】 緒方貞子さんの業績とプロフィール 転記採録 2023.10.10.

YAHOO! ニュース
JAPAN

10/6(金) 18:01 はるママさん 子育てに役立つ本のソムリエ

NHK アナザーストーリーズが特集する

緒方貞子さんの華麗な経歴と、壮絶な生い立ちとは?! より

<https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/2dd952e3b86af4a9cf98f53e5bc62bc07388338b>

ちょっと長く 感傷的な文面でしたが、緒方貞子さんの歩まれた道

「誕生から2013年 国連本部での「人間の安全保障」についてのスピーチ」までの活動記録が年次ごとにまとめて記録されており、緒方貞子さんの活躍の「命をつなぐ現場主義」の実像がよくわかるので、そのまま収録させていただきました。

2023.10.10. Mutsu Nakasishi

2023年10月6日放送のNHK番組「アナザーストーリーズ 運命の分岐点」では、UNHCR・第8代国連難民高等弁務官、緒方貞子さんにスポットライトが当てられます。

ボスニア内戦、ルワンダ虐殺…世界で難民が苦しむとき、その現場にはいつもこの小柄な日本人女性の姿がありました。アナザーストーリーズの予告を見て、「緒方貞子さんについて詳しく知りたい！」と居ても立っても居られなくなった私は、近所の図書館に走り、「緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で」という本を発見。

そして、緒方さんの華麗な経歴と険しい道のりに驚愕。貪るように一気に読み終えて、彼女が「小さな巨人」呼ばれる理由が、よくわかりました。

この記事では、私が「緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で」を読んで感銘を受けたエピソードを中心に、緒方さんの壮絶な生い立ちから、2013年 国連本部での「人間の安全保障」についてのスピーチまでを、ご紹介します。



誕生～戦争の時代～終戦へ

1927年 東京で、外交官の中村豊一・恒子夫妻の長女として生まれる「貞子」と命名したのは母方の曾祖父で、第29代内閣総理大臣を務めた犬養毅。緒方さんの祖父は、長年外交官を務め、犬養内閣では外務大臣を務めた芳澤謙吉。親戚が集まると、団らんの場に政治の話題が頻繁に出るような家系の出身です。

1930年 父・豊一がサンフランシスコの日本国総領事館に赴任するため、母・恒子、弟・豊二とともに家族そろってアメリカに引っ越す。当時の入国記録が残っていて、3歳目の緒方さん、身長は約81センチでした。

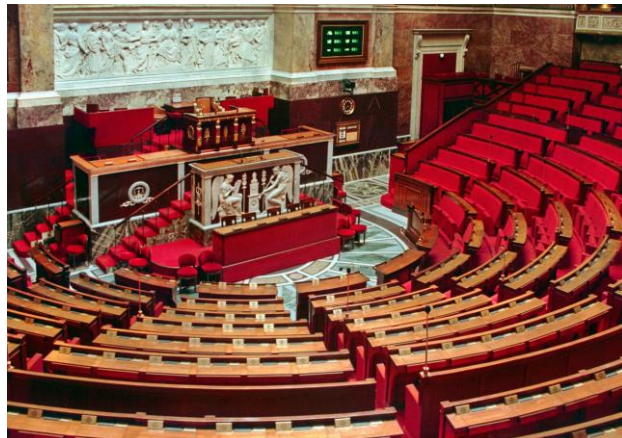
1932年 五・一五事件 曾祖父・犬養毅が、軍事政権の樹立を目指す青年将校たちによって、暗殺されてしまう。4歳だった緒方さん、戦争へとひた走る日本の不穏な空気を感じざるを得ない状況でした。

1935年 父・豊一が中国・福州で総領事を務めることになり、再び太平洋を渡る。8歳になる頃の緒方さん、アメリカとは違う異国の文化にびっくりしたそうです。福州を1年で離れ、広州、香港と転勤が続きしました。

1939年 父・豊一が外務省の電信課長になり、日本へ帰国。緒方さんは、先に帰国し、聖心女子学院に入学していました。小学5年生の時です。当時は、外務省の中に住んでいて、緊迫した電話のやりとりを、ちょこちょこ耳にしていたそう。

1941年 真珠湾攻撃により、太平洋戦争へ。緒方さんがこのニュースを聞いたのは、聖心女子学院の体育館で、跳び箱を跳んでいるとき。中学2年生でした。「とうとうこうなったのか」という感じだったそう。

1945年 東京大空襲を経験、終戦へ。緒方さんは、庭の防空壕にいて無事でしたが、聖心女子学院の校舎が焼夷弾の直撃で炎上。この戦災下、卒業式が行われ、その後、家族とともに軽井沢に疎開しました。軽井沢で終戦を知り、「自分の国がもし全部負けたら…。負けた国はどういうことになるのかな」と思ったそうです。



戦後～青春時代～学問に励む

1948年 聖心女子大学に一期生として入学、英文学を専攻。初代学長エリザベス・ブリッドからリーダーシップについて学びました。「自立しなさい！知的でありなさい！協力的でありなさい！」というのが、マザー・ブリッドの言葉。青春時代の緒方さんに、大きな影響を与えたひとりです。

1951年 既習科目の一部が単位として認められ、大学を3年で卒業。その後、アメリカへ留学

マザー・ブリットや、外交官だった父・豊一に背中を押されて留学を決意。

ロータリークラブの奨学金をもらうための試験に、この年に合格したのは、緒方さん、ただ一人だったそうです。名門・ジョージタウン大学、大学院の修士課程で国際関係論を学びました。

日本で英語ができるといっても、アメリカで論文を書くのは大変だったそうです。

また、アメリカの豊かさを目の当たりにして「どうして戦争をしたのか…」という疑問が深まりました。

1953 年 日本に帰国し、東京大学の特別研究生に

ジョージタウン大学の大学院で修士論文を書き終えた緒方さんは、理論の裏付けとなる歴史の事実関係を深く学ぶため、岡義武教授のゼミで、近代日本政治外交史を学びました。

1956 年 カリフォルニア大学バークレー校で政治学原論と国際関係論を学ぶため、2 度目の留学
政治学の理論研究に惹かれ、「助手にならないか」と大学から声もかかっていたのですが…

1958 年 父・豊一の病気の知らせがあり、留学を中断し、帰国

父の病状が安定すると、カリフォルニア大学に提出する博士論文を書くため、満州事変の研究に乗り出しました。この論文は、のちに日米両国で出版され、今でも満州事変に関するポピュラーなテキストとなっています。

論文のタイトルは「満州事変と政策の形成過程」。

「幼少期を米国や中国で過ごし、曾祖父から祖父、そして父親まで、中国・日本・米国の外交問題に係わったことも踏まえて決めたテーマ」でした。

結婚～子育て～学問を続け、国連へ

1960 年 33 歳で結婚、長男誕生 結婚のお相手は、日本銀行に勤務する、同じ年の緒方四十郎さん。

四十郎さんの父・緒方竹虎は、朝日新聞で主筆を務めた後に政界に入り、国務大臣や副総理まで務めた人物です。なんと恋愛結婚で、緒方さんが出した結婚の条件は「(緒方さんが)学問を続けること」でした。

1967 年 長女誕生 子育てと学問に懸命に取り組む

国際基督教大学と聖心女子大学で非常勤講師として、日本外交史と国際関係論を教えていました。

子育てでいちばん大変だったのは、授業の準備をするために、子どもを早く寝かせることだったそうです。

1968 年 緒方さん 40 歳、突然の国連総会デビュー

婦人運動家として知られ、当時参議院議員であった市川房枝先生が、突然、緒方さんを訪ねてきて「ニューヨークの国連本部で行われる国連総会に参加してほしい」とオファー。

悩む緒方さんに、父・豊一は「ああでもない、こうでもない可能性を論じているより、まず出席すると決めて、それから人を探しなさい、方法論を考えなさい」と言いました。

「みんなでやれば何とかなるから、行きなさい」と父に背中を押され、緒方さんは子どもたちを預けて、ニューヨークへ旅立つのです。そして 3 カ月にわたり、国連総会の第三委員会に参加、社会・人権・文化問題について各国の代表と議論を重ねました。

国連総会参加を終えて、3 カ月ぶりに娘と再会した緒方さん。まだ赤ちゃんだったため、お母さんの顔を忘れてしまったようで、「忘れられた」と言って、涙をこぼしました。やっぱり一人の母親です。

1976 年 国連公使としてニューヨークへ

「公使として国連日本政府代表部に赴任することはできないか」という外務省からの申し出があり、正式に赴任が決定。夫・四十郎さんが日銀ニューヨーク事務所に駐在参事として転勤しており、長男と長女もニューヨークで暮らしていたため、偶然にも環境は整っていました。

1979 年 任期を終えて帰国後、外務省の依頼で難民問題に取り組む

カンボジア難民の救済視察団団長としてタイに赴きました。

4 日間の現地視察。タイとカンボジアの国境地帯で、直接、多くの難民の姿を目にし接した体験が、その後、UNHCR で難民問題に正面から取り組むことになる緒方さんの関心や考え方に、大きな影響を与えました。

1980 年 上智大学の教授となる。一方で国連の仕事に関わり続けました。

1982～1985 年 国連人権委員会の日本代表を務めました。

1983～1987 年 国際人道問題独立委員会の委員を務めました。

地道に、人権問題や人道問題への関心を継続させ、思索を深めています。

1983 年 日本の若者向けに「模擬国連」を組織化

模擬国連では、日本全国の大学生、大学院生を中心とする参加者一人ひとりが、世界各国いずれかの大使となり、各国の立場になって、実際の国連会議で扱われる問題を話し合います。

ここから実際に、国際社会の舞台で活躍する人材も、多く輩出されているそうです。

1990 年 国連人権委員会の特別報告者としてミャンマーを訪れる

人権問題や、人権の考え方について、ミャンマー政府と話し合いの道筋をつけてくるのが、緒方さんのミッションでした。

「やっぱり、軍事政権の人たちと話をつけるだけでも大変なことでしたね」と語っています。

難民問題、人権問題に正面から取り組む

1991 年 第8代の国連難民高等弁務官となる

子育てが一段落して、母親の介護も十分果たし、すでに看取っていた緒方さん。

「日本は、もっと国連ポストに人を輩出すべきである」自ら語っていたので、

外務省からの打診を受け、国連難民高等弁務官後任候補となりました。

各国の候補者が次第に絞られていき、国連事務総長から直接、就任を依頼する電話があったそうです。

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)は、人道的見地から、紛争や迫害によって故郷を追われた世界の難民の保護と、難民問題の解決に向けた国際的な活動を先導し、調整する任務を負っています。

そして、緒方さんは10年の在任期間中、前例のない決断を次々と下していきました。

最も有名なエピソードは、イラクでのクルド人難民問題でしょう。

トルコから受け入れを拒まれた40万人のクルド人が、イラク国境の山間地に取り残され立往生。

絶望の淵に追い込まれました。

しかし、UNHCRの活動の基本となる難民条約では、国境を越えて自国を出ていない人は、支援の対象外。

簡単に彼らを救うわけにはいかなかったのです。

緒方さんは、直ちにヘリコプターで現場を訪れ、1日中歩き回り、クルド人避難民の方の話を聞きました。

「どこから来たのか」「いつ来たのか」「なぜ、ここに来たのか」「どんな希望を持っているか」。

今度是对応を協議するため、ジュネーブの本部に戻り、2時間以上にわたって全ての幹部の意見に根気強く耳を傾けた緒方さん。決心して、こう言いました。

「私は、介入することに決めました。なぜなら UNCHR は、被害者たちが国境を越えたかどうかにかかわらず、被害者たちのもとに、そして側にいる必要があるからです」

最も難しい問題に直面し、解決策を即決。見事なリーダーシップでした。

この決断の意味・重要性は、クルド人の問題にとどまらず、その後まもなく起きた旧ユーゴスラビア紛争でも、この方針が活かされました。

緒方さんの勇気ある決断が、非常に多くの国内避難民の命を救うことになったのです。

2000 年 3期10年にわたった国連難民高等弁務官の職を退く

緒方さん、73歳。しかし、まだまだ引退ではありませんでした。

2001 年 日本政府の依頼で、アフガニスタン支援総理特別代表に就任

UNCHR時代にやり残した仕事という思いもあり、現地にも足を運びました。

その後、外務大臣就任の依頼もありましたが、夫の健康が悪化していたこともあり、辞退。

2003 年 国際協力機構(JICA)の理事長に就任

新天地 JICA でも、前例にとらわれない改革を次々と行いました。

また、職員に対して、「世界の中にある日本」と「世界の安定と繁栄が日本の安定と繁栄にもつながること」を意識するよう求めたそうです。

2013 年 国連本部でのスピーチ。緒方さん、85歳

「人間の安全保障」に関する特別イベントに招かれ、国連事務総長の挨拶に続いて、スピーチを行いました。

書籍「緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で」にスピーチの全文が掲載されていますので、

興味のある方は読んでみてくださいね。

緒方さんが、難民支援に当たる中で着目し、その後一貫して追求してきた政策的概念が「人間の安全保障」。

「安全保障とは、従来、国家がすべきものということを前提に考えられてきたのですが、もはや国家を超えて、『人びと』というものを、保護の対象にしていくことを考えないといけないのです」と緒方さんは語っています。いかがでしたか？

私は、緒方貞子さん生い立ちや経歴を知って、「これが天命というものなのか！」と強く感じました。緒方さんが生まれた環境、育った時代、共に生きる人びと、奇跡のような偶然が積み重なって、「人間の安全保障」を追求する道に、導かれていったのでしょうか思えません。

緒方さんの語る言葉には、「名言」と呼べるものが沢山ありました。

私が、その中で特に好きだと思ったのは、緒方さんが多様性についてお話している時の、この言葉です。

「“異人”という言葉。あれ、”異なる人”と書くでしょう。人間を見るときには、本当はにんべんの”偉人”でなくてははいけないのですよ」

【参考文献】緒方貞子 戦争が終わらないこの世界で

小山靖史・著 NHK 出版

最後まで読んでいただき、ありがとうございます

緒方さんに貰かれた強い信念と、深い思いやりが、少しでも伝わったなら幸いです。

本資料作成ブロックの主 はるママさん 子育てに役立つ本のソムリエ

読書量 3,000 冊以上、読書歴 30 年!現在 6 歳娘と 4 歳息子の育児奮闘中。アラフォーのママ

◎ はるママの最近の記事 インターネットより

【自己啓発】幸せになるのに夢は必要?!悩みだらけの現代で「本物の夢」の見分けるに 10月12日

【自己啓発】人間関係が上手くいく人は知っている!嫌いな人のことで悩むのをやめる超合理的な方法とは?! 10月9日

「情熱大陸」出演の寺島しのぶさん。子どもの頃は歌舞伎コンプレックス?!その意外な理由とは 10月8日

ほか

なお NHK BS 「小さな巨人 緒方貞子さん 運命の分岐点」の再放送ほか緒方貞子さんの活動動画や緒方貞子さんに関する書籍や文等インターネット検索で沢山出てきますので、ご興味のある方は そちらもご参照ください。



日本人初の国連難民高等弁務官 緒方貞子さん



国連難民高等弁務官就任当時 ©UNHCR/E.Brissaud

日本人初の国連難民高等弁務官

緒方貞子さんは、日本人で初めての国連難民高等弁務官として、1991年から2000年まで10年間の任期を務めました。

緒方さんは1927年東京都に生まれ、幼少期をアメリカ、中国、香港などで過ごしました。聖心女子大学卒業後アメリカに留学し、ジョージタウン大学で国際関係論修士号を、カリフォルニア大学バークレー校で政治学博士号を取得。

その後、74年に国際基督教大学準教授、80年に上智大学教授に就任。76年には日本人女性として初の国連公使となり、その後91年には日本人として、また女性として初の国連難民高等弁務官に就任しました。

緒方さんが高等弁務官に就任した1991年は東西対立構造がもたらした冷戦が終わりを告げ、民族、宗教などに起因する地域的な紛争が増え続けていた時期でした。

クルド人難民救済の新しい枠組み

緒方さんの就任時期に、湾岸戦争が勃発しました。それを機にイラクのクルド人が武装蜂起し、制圧しようとするイラク軍から逃れるため、わずか4日間のうちに180万人のクルド人がイランやトルコの国境地帯に逃れました。

そのうち40万人のクルド人がトルコの国境に向かって避難しましたが、トルコ政府が入国を認めなかったため、国境地帯にとどまることになりました。当時、UNHCRでは国内避難民の保護は直接的な任務ではなかったため支援を行うべきかが議論になりました。しかしながら緒方さんは人道的視点から、そして人命を守るため、彼らを保護し支援することを決断したのです。

短期間にできる限り多くのUNHCRの職員が集められ、すぐにイラクに派遣されました。そして冬を迎えようとする中、クルド人の出身地である北イラクにUNHCRは難民キャンプを設営しました。また、キャンプの治安維持のためイラク北部の駐留期間を延長するように米軍に要請しました。

この時、緒方さんは人道的見地からそれまでの難民保護の考え方を超え、新しい支援の枠組みを作り出したのです。

バルカン紛争—銃弾の中の人道援助



1993年サラエボを訪問 ©UNHCR/Sylvana Foa

ユーゴスラビア連邦からスロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナが分離独立したことにより、1992年ボスニア紛争が始まりました。ボスニアにはセルビア系住民、クロアチア系住民、イスラム系住民が暮らしていましたが、独立をきっかけに民族対立が深刻化し内戦となったのです。

UNHCRはまずボスニア政府と交渉して、サラエボ市民に食糧の空輸を行いました。ところが、飛行場に届いた物資を町までトラックで運ぼうとすると、ボスニア政府はその道路を封鎖し、UNHCRによる物資の輸送と配布を妨害したのです。

サラエボ市内のセルビア系の地域にはイスラム系が多く暮らす一帯がところどころにあり、UNHCRはそうした場所も含め

て物資を輸送しようと試みました。しかしそのためにはセルビア系が輸送を妨害しないよう、終始交渉しなければならず、輸送は遅々として進みませんでした。この状況に対し、ボスニア政府はサラエボへの道路を封鎖することでイスラ

ム系により多くの物資が届くように仕向けたのです。

そこで緒方さんは、もし道路を封鎖するのであれば、サラエボを含めて、セルビア人勢力支配下のボスニアにおける全ての救援活動を直ちに一時停止すると発表しました。人道支援が政治的に利用されることを回避するためでした。紛争下の混乱した状況においても、緒方さんは常に冷静に 人道支援を政治的な思惑から引き離すよう努めました。

ルワンダ－難民キャンプの治安維持



1995 年ルワンダ難民の子どもたちと ©UNHCR/Panos Moutzis

ルワンダでは 1994 年フツ族過激派によるツチ族の虐殺が起こり、わずか 4 ヶ月でおよそ 80 万人が虐殺されました。

さらに 24 時間で推定 25 万人のルワンダ難民がタンザニアへと流出し、8 月までにザイール（現コンゴ民主共和国）、タンザニア、ブルンジ、ウガンダなどへ 200 万人が逃れました。

ザイールのゴマに 100 万人規模で流入したルワンダ難民を支援するため、UNHCR はザイール国境沿いのゴマに難民キャンプを設営し、そこで食糧支援を行いました。

キャンプに逃れる難民の中には武装集団に居た人々も混ざっており、最大の難題はキャンプの

治安をいかにして守るかということでした。

そのため緒方さんは治安維持のための協力を国際社会に何度も訴えましたが、その要請に応えてくれる国はありませんでした。非常に危険な任務であり、また、かつて武装集団に所属していた人々を保護するということに対する議論があったためです。緒方さんは、ザイールのモブツ大統領の親衛隊とアフリカ諸国の仕官に訓練を施し、難民キャンプの治安維持にあたってもらうことに成功しました。武装集団だった人々を支援することに対し倫理的に疑問を感じ、活動を引き上げる団体もありましたが、その中でも UNHCR は難民保護活動を継続していきました。

緒方さんの実績と成果



1993 年ケニアの難民キャンプを訪問 ©UNHCR/Panos Moutzis

緒方貞子さんは「人命を救うための最善の選択」という基準のもと、現場の状況に応じて柔軟に判断を行ってきました。

また、強力なリーダーシップのもと、UNHCR の緊急事態即応体制を強化し、各国政府の支持をとりつけ救援物資を輸送する大規模な空輸作戦を展開しました。これは UNHCR 史上初めてのことでした。

同時に緒方さんは、こうした救援活動が人道主義の名のもとに政治的に利用されることに断固として抵抗し、紛争の恒久的解決を目指して国際社会に積極的な関与を求めました。

難民問題と平和構築には深い関係があることを世界中に訴え続けたのです。

緒方さんは 2000 年に国連難民高等弁務官を退任してからは、総理特別代表としてアフガニスタンの復興支援をしながら、2003 年 JICA 理事長に就任、開発援助、復興支援に携わりました。

2012 年に退任した後も JICA 特別フェロー、名誉顧問として国内外で活躍しました。

プロフィール／緒方貞子



1999年スイス・ジュネーブ本部で

© UNHCR/Anneliese Hollmann

1927年東京生まれ。聖心女子大学文学部卒業後、アメリカに留学し、ジョージタウン大学で国際関係論修士号を、カリフォルニア大学バークレー校で政治学博士号を取得。

74年国際基督教大学(ICU)准教授、80年上智大学教授に就任。

76年、日本人女性として初の国連公使となり、特命全権公使、国連人権委員会日本政府代表を務める。

91年より第8代国連難民高等弁務官として難民支援活動に取り組む。

2000年12月退任。01年より人間の安全保障委員会共同議長、アフガニスタン支援日本政府特別代表、国連有識者ハイレベル委員会委員、人間の安全保障諮問委員会委員長を歴任。

03年～12年、独立行政法人国際協力機構(JICA)理事長。

享年92歳。

<参考文献>

「共に生きるということ」緒方貞子著(PHP研究所、2013年)

「紛争と難民 緒方貞子の回想」緒方貞子著(集英社、2006年)

東京 2019年10月29日 © UNHCR 訃報 緒方貞子さん プレスリリース

第8代国連難民高等弁務官を務め、UNHCRを1991年から2000年まで率いた緒方貞子氏のご逝去がご遺族より報告されました。フィリップ・グランディ国連難民高等弁務官はご逝去の報に接し、

「ミセス緒方は先見の明のあるリーダーでした。

UNHCRの歴史における重要な局面において、激しく変動する世界情勢のうねりのなかで、紛争、民族浄化、ジェノサイドによって移動を強いられた何百万もの人々が生き延び生活再建を図るために、人道支援がどうあるべきか、再定義した人物でもありました。生涯を通して国際貢献に献身し、私たちの“連の友”であり続けました」

とコメントしています。

冷戦終結後、世界が新たな分裂と統合に直面し、何百万もの人々が住み慣れた土地を追われていた時に、緒方氏は国連難民高等弁務官に就任しました。

UNHCRは国連難民高等弁務官であった緒方氏の指揮の下、旧ソビエト連邦、イラク、バルカン諸国、ソマリア、アフリカ大湖地域、東ティモールなどの大規模な緊急人道危機に対応し、中央アメリカ、アフリカやアジア各地で行われた大規模な難民帰還事業にも携わりました。また難民・国内避難民を保護するために、UNHCRとして初めて紛争地域における活動にも着手しました。緒方氏は尊敬すべき日本の学術研究者であり、多国間にかかわる交渉にも長けた外交官として、そして、難民への理解と連帯を求める代弁者として、政治的な対話や和平プロセスにおいて、世界各地で起こっている強制移動の解決を提唱するべく飽くなき挑戦を続けました。

緒方氏は国連難民高等弁務官の任務を離れてからも、難民問題、そして国連と親密に関わり続けました。

「人間の安全保障」の理念を掲げた先駆者でもあり、国際協力機構(JICA)の理事長として、開発援助が強制移動の解決に貢献できるようにも尽力しました。

UNHCR職員一同、緒方氏のご遺族、日本政府、日本国民の皆様の深い悲しみに対し、謹んで深い哀悼の意を表します。

<UNHCRについて> 国連の難民支援機関であるUNHCRの活動を支える日本の公式支援窓口

1950年設立。難民、国内避難民、無国籍者などを国際的に保護・支援するため、世界約135カ国で活動を行っています。シリア、イラク、アフガニスタン、南スーダン、コンゴ民主共和国、バングラデシュなどで発生した人道危機においても、最前線で支援を実施。1954年、1981年にノーベル平和賞を受賞。本部はスイス・ジュネーブ。

収録2

文珍さんの落語的見聞録

「『ソレ』で関西盛り上がりまっせ!!」

「それ・あれ」の会話は文珍さんの落語のまくら 高齢者への応援歌 もう私もそんな歳やと。
トラファンの会話があちこちで弾んでいます。故郷尼崎はトラキチの街
今住む神戸山麓界隈はオリックスの聖地 CS勝ち抜けば、阪神なんば線地下鉄シリーズ
まずどちらも CS 勝ち抜いて

2023. 10. 10. Mutsu Nakanishi

文化

落語的見聞録



文珍

2023年(令和5年)
9月27日
水曜日

神戸新聞社
〒450-8321
神戸市中央区東川崎町1-5-7
電話 (078) 362-0111
新聞部 2094 広告部 2095
編集局 2096 営業部 2097
〒450-8321
078-362-0111
神戸新聞社 印刷部 2098
〒450-8321
078-362-0111

神戸新聞

「ソレ」で関西盛り上がりまっせ

は…。アレとNHKのニュースでも言っていた。少々早いけど、きつと今年の流行語大賞に選ばれると思う。

「アレ」をAREと書いて甲子園で応援するファンの姿がTVで見る。最近のTVは面白いので、いろいろモノが見える。バッターの後ろのよく見えるところの宣伝広告費用は結構な値段なんやろう。木浪選手がバッターのタイミングでゴオミスポーツの広告を見つけて、一人で笑っていた。しかしピッチャーマウンドの後ろ側の広告はどうも景色が悪い。ゲームに集中したいのに邪魔になつて仕方ない。

今月は阪神の野球、相撲、ラグビーのワールドカップとスポーツ観戦に忙しい。ラグビーは、ニワカファンで、イマイチルールもわかっていないのにチリ戦を

「ソレ」で関西盛り上がりまっせ

が、日常生活は静寂と違って、風呂に入っているドラマをやっているチャネルに勝手を変えた。「何すんねん、お父さんが今、ラグビー見てるのや。勝手を変えたらアカンやろ」と言う勇気もなく、仕方なく、自分の部屋でラジオでラグビーの中継を聞いてたが、何もわからない。ま、ズルルが理解できていない。選挙の名前がわからない。日本チームなのにカタカナの名前やし、わからないことだらけ。唯一わかつたのは「トライ」という言葉のみ。思わず学習塾の宣伝かうと。

落語「お道具持見」ではノドが渇けばスタバでお茶すればいいと思つてた男が、ルールがわからないままお茶席へ招かれ、茶室で茶を頂き、その静寂さと奥深さに感心し、ワビサビを知る。

次回回は10月19日

